



大桑小×福井市一乗小 海・山の防災交流

7月2、3日、市内各所で、大桑小学校と福井市一乗小学校の児童29人が、「ふたつのふるさと(海・山の防災交流)事業」の一環として、自然体験や防災学習を通じて交流を深めました。

両校は、一乗谷朝倉遺跡や大桑城跡などの歴史的なつながりを通じて、これまで交流を続けてきました。1日目の炊き出し体験では、水だけで調理できるカップラーメンやお菓子を材料にしたポテトサラダ作りなどに挑戦しました。児童は、災害時を想定した食事を味わいながら、防災食について学び、交流を楽しみました。



岐阜城楽市で 伊自良十六拍子を演舞

7月11日、岐阜公園の岐阜城楽市で、市重要無形民俗文化財の伊自良十六拍子が披露されました。

イベントでは、保存会による力強い太鼓の演奏が会場に響き渡ると、多くの来園者が足を止めて聴き入っていました。竜を掲げて舞わせる「竜廻し」が観客の間をすり抜けると会場から大きな拍手が送られました。観客からは「すごい迫力だった」「竜が目の前まで来て驚いた」といった声が聞かれました。



十六拍子のリズムに合わせて 世界に一つだけの歌づくり

7月14日、伊自良北小学校で、シンガーソングライター岡田健太郎さんを講師に招き、参加型ワークショップ世界に一つだけの歌づくりを行いました。

午前は、同校4から6年生の児童が、市の特産物や伊自良の好きなどころなどについて意見を出し合いました。それをもとに岡田さんがその場で曲をつけ、十六拍子のリズムを基調とした世界に一つだけのオリジナルソングが完成しました。

午後は、花咲きホールで全校児童が楽曲を聴き、自分たちの思いが音楽となって響く特別な時間を楽しみました。



広告

広告

三協電子工業株式会社 企業版ふるさと納税で寄附



7月6日、市役所公室で、三協電子工業株式会社から企業版ふるさと納税として寄附を受け、感謝状を贈呈しました。

同社は、電気通信工事や電波調査、監視カメラ設備などを手掛ける高い技術力を持つ企業です。このたび、市が実施する自然との融和を目指すまちづくり事業に賛同し、同社のグループ会社が販売する非常用トイレセット、エスマールくんを寄附されました。

山県市安全・安心まちづくり宣言



7月6日、市長と山県警察署桂川幸治署長が山県市安全・安心まちづくり宣言を行いました。

この宣言は、特殊詐欺をはじめとする犯罪への防犯意識を市民一人一人が高め、安全・安心なまちづくりに向けて、市と山県警察署が相互に連携して取り組むことを宣言したものです。

桂川署長は「より一層連携を強化し、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を大切にしてもらえよう」と話しました。

小学生の発想×高校生の技術 デジタル紙芝居を園児へ



6月30日、美山小学校の情報委員会の児童が、同校でみやま保育園の園児にデジタル紙芝居の読み聞かせを行いました。

このデジタル紙芝居は、美山小学校の児童が考案したオリジナルキャラクター「リーフ」を題材に、山県高校文芸部が制作したものです。

園児は、スクリーンに映し出される紙芝居を楽しみながら、児童の読み聞かせに耳を傾け、熱心に聞いていました。

ライフスポーツ財団が 子ども活動支援金を交付



公益財団法人ライフスポーツ財団から市へ、令和8年度子ども活動支援金の交付がありました。

この支援金は、こどもたちの体を動かす機会が減少している中、健全な心身発達のために、日常的な運動遊びやスポーツに親しむための取り組みを行う自治体に交付されるものです。

交付された支援金を活用し、大桜保育園と伊自良保育園に遊具を設置しました。

第60回全国道場少年剣道大会 出場者激励会



7月13日、市役所公室で、第60回全国道場少年剣道大会(7月28日に東京都で開催)に岐阜県代表として出場する、高富小学校5年生の旭麗司さんと驚見幸祐さんの激励会を行いました。

2人は1年生から剣道を始め、今回予選を勝ち抜いて全国大会へと駒を進めました。

市長が意気込みを聞くと「岐阜県の代表として一勝でも多く勝てるようがんばりたい」と話しました。

株式会社ギフライス 企業版ふるさと納税で寄附



7月8日、市役所公室で、株式会社ギフライスから企業版ふるさと納税として寄附を受け、感謝状を贈呈しました。

同社は、米穀の集荷・精米・販売を中心に事業を展開し、岐阜県産米をはじめ全国各地の良質な米を取り扱い、食卓を支える企業として地域社会に貢献しています。このたび、市が実施する生き生きと安心して働けるしごとづくり事業に賛同し、寄附されました。